

もしも不幸がおきたら

●病院で亡くなられた場合

まず当社にご連絡下さい。24時間対応いたしております。

○故人名、病院名、お申し込みされた方の氏名、連絡先をお伝え下さい。

●病院を出発する用意をします

○病院でお世話になった方々へお礼を述べます。

○死亡診断書をもらい(大事な事なので、出来るだけ早く)、入院費用の精算を早いうちに済ませておきましょう。

○病院に置いてある故人の荷物を整理し、引きとる準備をします。

●御自宅で亡くなられた場合

○往診してもらっている医師があれば来ていただき、死亡が確認されれば死亡診断書をもらいます。

○医師の診断を受けておられない場合は、警察に連絡し、検視を受け死体検案書(死亡診断書)を医師からもらい警察で検視済印をもらいます。

※警察の指示があるまで遺体を移動してはいけません。

**当社にご連絡下さい。
24時間対応致しております。**

死亡届、火葬申請は当社係員にご相談ください。



目次

万一のご不幸にそなえて	1
もしも不幸がおきたら	1
① ご自宅に安置する場合	2
② 枕経・寺院への連絡	2
③ 葬儀内容の決定	3
④ 関係者への連絡	3
⑤ 納棺	4
⑥ 通夜	4
⑦ 葬儀・告別式	5
⑧ お別れ・出棺	5
⑨ 火葬とお骨上げ	6
⑩ 精進落としと初七日	6
⑪ 仏事の水引きと表書きの一例	7
故人を供養するための行事	8
必要な手続きのチェックリスト	9

万一のご不幸にそなえて

最愛なる家族の死ほど悲しいことはありません。
しかし、その悲しみの最中にすみやかに葬式を
とりおこなわなければならないばかりか
社会や法律上のたくさん手続きも必要となってきます。
この冊子では、不幸がおきた時の諸手続きの方法から
お葬式の基礎知識にいたるまでを詳しく解説しております。
死という避けられない事実を敬遠することなく
逝く人の冥福を祈り、正しい礼法で送ってあげることが
残された人々の大切な務めでもあるのです。
永い歴史に育まれてきた、お葬式に関する正しい知識を
万一の備えにしていただければ幸いです。